

山口放送と日本通信機が共同開発 FM放送測定器「SFNアナライザー」 第46回 放送文化基金賞受賞



山口放送と日本通信機が共同開発した FM放送の測定器「SFNアナライザー」が 第46回放送文化基金賞 個人グループ部門 放送技術で受賞しました。

放送文化基金は、広く放送文化の発展に寄与することを目的として、1974年に設立された民間の財団です。

基金では、毎年、「視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた放送番組」「放送文化、放送技術の分野での顕著な業績」を対象に放送文化基金賞を贈っています。

今回、「放送文化基金賞」を受賞したのは FM同期放送を行う上で、電波の遅延時間差を測ったり 放送波の品質を管理したりすることの出来る測定器です。

山口放送では2015年からこれまでに 13の中継局を建設しFM同期放送を行っています。この測定器は、全国のFM同期放送の音質向上に役立つものと期待されています。

【業績内容・選考理由】

FM補完放送の送信網を構築するにあたり、同期放送の導入が進んでいる。同期放送送信網の構築・維持にはエリア内での精密な受信測定が必須で、これまでは深夜の番組休止時間に試験信号を発射し測定していたため負担も大きいという課題があった。本測定器の開発で昼間の通常番組で精密測定が可能となり、受信品質を客観的に測定する機能も含め、人員の少ない地域のラジオ局での送信網の構築・維持を容易にしたことは高く評価できる。

※なお、このFM放送の測定器「SFNアナライザー」は、今年5月、映像情報メディア学会の「技術振興賞」進歩開発賞を受賞しています。

【お問合せ】

山口放送 テレビ編成部（松尾） Tel：0834-32-1119 Mail：matsuo@kry.co.jp

